

第1回 感覚・知覚心理シンポジウム

被験者を用いる研究の意義と限界

◆主旨

被験者を用いる研究を実施するにあたって我々がまず直面するのは、対象者をどのように設定するかという課題である。被験者の選定は結果の適用範囲をあらかじめ絞ることを意味し、調査や実験の目的に直接関係する。また、結果の解釈の段階においては、結果のばらつきが被験者層のちがいによって説明されることが多い。

建築の感覚・知覚心理の分野では、温熱、音、におい、景観など、評価対象が異なる領域ごとに、被験者の選定に独自の方法論が蓄積されてきた。シンポジウムの前半では、各領域から被験者選定の基本的な考え方を解説していただく。そのうえで後半では、日頃の試行錯誤の過程も交えて、被験者を用いる研究の意義と限界について、領域を超えた議論をおこなう。研究のさらなる洗練に向けて、有益な情報交換の場となることを期待している。

◆プログラム

主旨説明 梅宮典子（大阪市立大学） 13:30-13:35
温熱環境評価における被験者の選定 宮本征一（摂南大学） 13:35-13:55
音環境評価における被験者の選定 佐藤逸人（神戸大学） 13:55-14:15
におい環境評価における被験者の選定 光田恵（大同大学） 14:15-14:35
複合環境評価における被験者の選定 松原斎樹（京都府立大学） 14:45-15:05
景観評価における被験者の選定 西名大作（広島大学） 15:05-15:25
総合討論 15:35-16:50 司会：土田義郎（金沢工業大学）
指定討論者：秋田剛（東京電機大学）、原直也（関西大学）、山中俊夫（大阪大学）

主催—日本建築学会 環境心理生理運営委員会 感覚・知覚心理生理小委員会
日時—2017年10月14日（土） 13時30分～16時50分
会場—大阪市立大学文化交流センターホール
（〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階 TEL：06-6344-5425）
参加費—会員2,000円、会員外3,000円、学生1,000円（資料代含む）
定員—75名（申込先着順、10月7日〆切）
申込方法—参加者氏名、所属、会員種別を明記の上、メールにてお申し込みください。
kankakutikaku@gmail.com（担当：名古屋市立大学 原田昌幸）
問合せ—日本建築学会事務局 事業グループ 中村
TEL：03-3456-2057 E-mail：nakamura*/aij.or.jp /*/を@に変えてください。